

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-3		事業名	博物館活動センター展示室整備事業			
担当	観光文化局文化部市民文化課博物館担当係 三浦 200-5002						
全体計画							
事業内容	世界最古のサップロカイギウなど、様々な太古の札幌の姿を解明した大型動物化石総合調査の成果を発信する展示空間をリンクエッジプラザ敷地内に整備する。			<年度別の事業内容>			
				【平成20年度】 展示空間の整備			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	/			予算事業費は計上されていないが展示による調査成果の普及・活用については出前展示により対応している。			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
展示室の整備		-	-	未整備	未定	未定	整備 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加							
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-1-3			事業名	博物館活動センター展示室整備事業						
評価(成果)						課題						
整備には至っていない。						本事業については、リンケージプラザ及び敷地を含めた資産全体の今後の活用計画の動向を見据えながら進めていく必要がある。						
今後の事業の予定・方向												
<p>本事業は、サッポロカイギウの復元骨格標本を格納、展示できる大型展示ケースをリンケージプラザ敷地内に設置するもので、調査・研究成果の普及、活用のほか、活動センターの所在と活動をアピールし、センターの周知と集客効果を期待したものである。</p> <p>事業の推進については、リンケージプラザ及び敷地の今後の活用計画の動向を見据えながら進めていく必要があるが、当面、民間の集客効果の高い施設などにサッポロカイギウを出前展示するなどして、調査・研究成果の普及に努め、同様の効果を挙げるよう積極的に展示展開していく。</p>												
事業費の推移												
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計		
計画	事業費	0		15,000		0		0		15,000		
	財源内訳	0		0		0		0		0		
	国・道支出金	0		0		0		0		0		
	市債	0		0		0		0		0		
	その他一般財源	0		15,000		0		0		15,000		
予算	事業費	0		0		-		-		0		
	財源内訳	0		0		0		0		0		
	国・道支出金	0		0		0		0		0		
	市債	0		0		0		0		0		
	その他一般財源	0		0		0		0		0		
実績	事業費	0		-		-		-		0		
	財源内訳	0		0		0		0		0		
	国・道支出金	0		0		0		0		0		
	市債	0		0		0		0		0		
	その他一般財源	0		0		0		0		0		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)										0.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)												
(全体) 事業が予算化されていないので展示による調査成果の普及・活用については出前展示により対応している。												
[19年度]												
[20年度]												